

1 内政

（1）新型コロナウイルス

ア 1日、当国外務国際協力省は、スアソ駐米大使が米国政府に対して500万回分のワクチン供与を求めた旨発表。また同大使は、中国からのワクチンを得るために貿易事務所開設も排除されない旨述べた由。

イ 2日、野党自由党及びリブレ党を中心とする121自治体の市長により、ワクチン調達を目的として新たな市長連合が設立された。初代代表には、カストロ・フランシスコモラサン県セドロス市長が就任する見込み。

8日、同市長連合は、当国弁護士会、中等教育教員会及び国立自治大学労働組合の代表者と共に記者会見を開き、デルガド当地キューバ大使に対し同国製ワクチン320万回分の供給を求める書簡を送付した旨発表。

ウ 10日、保健省は、新型コロナに関する水際措置に関し、従来提示を求めていた陰性証明に代えて、ワクチン接種証明をもって入国を認めるとする措置の変更を発表した。なお、接種証明を所持していない場合には引き続き陰性証明の提示が必要。

エ 11日、エルサルバドル政府は、当国6自治体の市長の求めに応じ、ワクチン4.4万回分を供与する旨発表。同国政府から当国地方自治体へのワクチン支援は、5月に3.4万回分が供与されたのに続き2回目。

オ 16日、米南方軍は人道支援プログラムを通じ、超低温冷凍庫5台を当国保健省へ供与した。右冷凍庫は零下80～60度での管理が必要とされるファイザー社製ワクチンにも対応しており、最大で計200万回分のワクチンを保管可能。

カ 27日、米国がCOVAXを通じ供与したモデルナ製の新型コロナワクチン150万回分が当国に到着し、受領式には、エルナンデス大統領、フローレス保健大臣、ホーエイ当地臨時代理大使、ウエルタ当地汎米保健機構（PAHO）代表等が出席。

●保健省発表による6月末現在のワクチン接種状況（保健省発表、2021年6月29日時点）

1回目接種済695,241人、2回目接種済58,125人、合計753,366人。少なくとも1回接種した人の割合は全人口の7.4%。

●当国のワクチン確保及び到着の状況は以下のとおり。

- ①政府による購入：ファイザー社製契約440万回分（約6万回分のみ到着済）、ロシア製スプートニクV契約420万回分（4.6万回分のみ到着済）
- ②社会保険庁（IHSS）による購入：アストラゼネカ社製契約140万回分（40.8万回分到着済）
- ③COVAXファシリティを通じた無償取得：396万回分（アストラゼネカ社製約25.8万回分到着済）

済、ファイザー社製約21.3万回分到着済)

- ④米国政府からの譲渡 (COVAX経由) : モデルナ社製150万回分 (到着済)
- ⑤メキシコ政府からの譲渡 : アストラゼネカ社製15万回分 (到着済)
- ⑥イスラエル政府からの譲渡 : モデルナ社製0.5万回分 (到着済)
- ⑦エルサルバドル政府からの譲渡 : アストラゼネカ社製約5.6万回分 (到着済)
- ⑧NGOから譲渡 : モデルナ社製500回分

●国内全土を対象とした夜間外出禁止令 (午後10時～翌午前5時) は6月も終始継続。なお、東部オランチョ県は、身分証明証等の末尾番号による外出制限等、更に厳しい措置を導入している。

●30日時点で、当国 (人口約959万人) における感染者総数は262,760人、死者数は7,005人。現感染者数のうち入院患者数は1,224人 (重症患者512人、ICU患者77人) (国家危機管理対策本部 (SINAGER) 発表)。

(2) その他

ア 17日、エルパライス県モロセリに所在するラ・トルバ刑務所内において、マラ・サルバートルーチャとパンディージャ18に属する収容者間の抗争に端を発する暴動が発生し、刑務所内での銃撃戦が4時間以上続いた。本件暴動による死傷者数について、死者は3～5名、負傷者は30～39名と報じられた。暴動は同日中に沈静化。

イ 20日、インティブカ県ジャマランギラ市のベハラノ同市長が発砲により殺害された。犯人は市職員とみられるが、詳細は不明。同市長は、重篤な状態で病院に移送され、病院で死亡が確認された。背景は不明であるが、個人的な事情とみられる。

2 外交

- (1) 1日、ロサレス外相はコスタリカを訪問し、中米統合機構 (SICA) 加盟各国外相、ブリンケン米国務長官及びエブラル墨外相との会合に出席。不法移民問題、新型コロナ用ワクチンの公平な分配の他、中米地域の民主的な制度の強化、腐敗対策、経済・保健関係の地域内での協力について意見交換を行った。また、同会合に先立ち、ロサレス外相と墨外相との間で個別会談が行われた。
- (2) 3日、エルナンデス大統領は、ラパス県ラパス市で開催された政府によるコーヒー生産者支援関連イベントの場で、6月最終週に在イスラエル・ホンジュラス大使館を現在のテルアビブからエルサレムへ移転する旨発言した。エルサレムにおける大使館開設は、米国、グアテマラ及びコソボに続き世界で4か国目。
- (3) 同3日、ロサレス外相は、米国ワシントンにおいてジョン・ケリー米大統領特使 (気候変動問題担当) と会談を行い、昨年11月の熱帯暴風雨による被害状況及び国家再建計画の概要を説明するとともに、当国が緑の気候基金へアクセスできるよう支援を要請した。

- (4) 10日、エルナンデス大統領は、コスタリカにおいて行われたSICAスペイン特別首脳会合に出席し、当国における治安向上の取組、新型コロナ用ワクチンの公平な分配、気候変動対応の重要性・緊急性等について発言。また、サンチェス西首相との間で二国間会談を行い、学校教育のためのデジタル接続、水・衛生問題、当国が西政府との間で結んでいる移民協定等について意見交換を行った。なお、これに先立つ9日、SICA外相会合、及びSICA加盟国外相とゴンサレス西外相との特別会合が行われ、当国からロサレス外相が出席した。
- (5) 13日、サマンサ・パワー米国国際開発庁 (USAID) 長官が当国を訪問。NGO、若者グループ、政府関係者と会合を行った他、USAIDが実施中の経済成長及び農業プログラムを視察した。また、不法移民リスクのある若者のための雇用機会創出を目的として、当国へ2,400万ドルを支援する旨発表した。
- (6) 16日、日本の国会議員による日ホンジュラス友好議員連盟総会が東京で開催され、岸信夫防衛大臣が新会長に就任した。
- (7) 23日、エルナンデス大統領含む当国政府代表団は、本年10月に開港予定のコマヤグア県パルメローラ国際空港の運営を請け負うミュンヘン空港会社と会談を行い、プロジェクトの進捗状況等を議論した。
- (8) 24日、エルナンデス大統領はベネット・イスラエル首相出席の下、在エルサレム・ホンジュラス大使館の開設式典に出席したほか、同首相との首脳会談を実施。会談後、ロサレス当国外相及びラピド・イスラエル外相は、農業、水、保健、教育、イノベーション分野における協力に関する了解覚書 (Memorando de Entendimiento) を署名した。
- (9) 26日、エルナンデス大統領夫妻及びブエソ当国教育大臣はスペインを訪問し、「Hispasat」社関係者と会談したほか、同社が持つ教育、医療、農業分野において活用可能な通信技術を視察。
- (10) 29日、米国のスニガ中米北部3か国担当特使が、当国経済団体が主催した会合にオンライン形式でゲスト・スピーカーとして参加。同特使は、同会合にて、当国において汚職問題が経済に与える影響は深刻である旨強調した他、本年11月の選挙に関し、OAS等の選挙監視団の招待の必要性を訴えた。

3 経済

- (1) 8日、当地国連事務所は、雇用経済開発地域 (ZEDE) 基本法及び関連法の枠組みへの懸念を表明する声明を発表。公共サービス・刑事司法等に関する自治権を与えられ、人権の完全な享受という観点において既存住民の権利が危険に晒される可能性があるZEDEを問題視した。これに対し当国外務国際協力省は同日、声明を通じて、ホンジュラスは主権国家として、憲法及び国内法の厳格な遵守のもとに国民の経済的・社会的繁栄のための決定を行っていることを強調した。
- (2) 11日、米州開発銀行 (IDB) は、人口3万人以下の市町村を対象とした水・衛生分野の事業支

援を目的として、当国政府への新規融資4,500万米ドルを承認した。右融資は2つのコンポーネントに分けられ、第1コンポーネント（3,860万米ドル）では上下水道インフラ及び下水処理システムの導入、第2コンポーネント（321万米ドル）では、当該事業の持続性を確保するため、対象地域における当国関連機関の能力強化が行われる予定。

- (3) 29日、米州開発銀行（IDB）は、コロナ禍及び昨年の暴風雨イータ及びイオタにより被害を受けた最低レベルの収入で生活する人々の生活の質の改善を支援するため、4,500万米ドルの融資を承認した。本件融資は、地方の極貧家庭を対象に現金給付を行う国家支援策「より良い生活給付金プログラム」（Programa Bono de Vida Mejor」等のプログラムの実施費用等に充てられる。

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2021年				2020年	2019年
	6月	5月	4月	3月		
インフレ率（前年同月比）	4.67%	4.84%	3.96%	3.94%	4.01%	4.08%
貿易収支(百万ドル)	—	—	—	未発表	△2,557.9	△3,107.4
輸出(百万ドル)	—	—	—	未発表	7,683.4	8,718.3
輸入(百万ドル)	—	—	—	未発表	10,241.3	11,825.6
外貨準備高（百万ドル）	8,645.4	8,540.2	8,483.0	8,252.9	8,148.8	5,808.9
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—	未発表	5,573.1	5,384.5
為替レート（対ドル月平均）	24.13	24.16	24.18	24.19	24.75	24.68

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支、輸出、輸入、外国からの送金は、四半期毎に発表

(了)